

令和3年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 事業概要書

事業名: 森の若返り(再造林)機械システム構築のための実地研修

団体名: 秩父広域森林組合



事業の目的・内容

保育作業の中で一番過酷と言われている下刈り作業や地拵え作業をより安全にかつ効率的に実施するために、機械による作業の検討及び実施する。



今までの活動状況

〈令和元年度〉

秩父市山田地内の市有林伐採跡地において、刈り払いのほか伐根も削れ、乗用タイプの「山もってジョージ」とリモコンで刈り払いが出来る「神刈」を検討した結果、安全面を考慮して、「神刈」を採用することとした。

皆野町大字下田野字程ノ原地内の皆野町有林伐採跡地において、自走式草刈機「神刈」のオペレーターを育成した。

〈令和2年度〉

程ノ原試験地において、オペレーター育成のために苗木の代わりに支柱を立て、その中を「神刈」で下刈りを実施した。

〈令和3年度〉

程ノ原試験地において、オペレーター2名によりスギ植栽地で「神刈」で下刈りを実施した。また、「神刈」の登坂能力について検証した。



これからの活動・行事

〈令和4年度以降〉

今後「神刈」を使用できる山林については、秩父版低コスト施業体系に基づき、伐採・搬出及び植栽等を実施し、下刈作業の安全性の向上・労力の軽減及び作業の効率化を目指していく。